



# アクションマン

編集 昭島市青少年委員の会 広報部会 平成30年 10月発行  
発行 昭島市子ども育成課 昭島市田中町1-17-1 042-544-5111

我ら青少年の活動を応援します



## 青少年委員さんより

### ★★ 青少年委員を終えて ★★

12年間、青少年委員を続けられたのは、他の委員さんの協力と支えがあったからです。何事にもポジティブで積極的な皆さんのおかげで、研修会の企画もスムーズに行うことができ、大変感謝しております。また、研修会では多くの体験をし、楽しい思い出もたくさんできました。事務局の方々にも多くのサポートをいただきこの場をお借りしてお礼申し上げます。青少年委員は退任いたしました。地域の「おばちゃん」として、お手伝いしていきたいと思っております。

つつじが丘小地区前担当 坂田 治美

### ★★ 青少年委員になって ★★

平成30年4月から青少年委員になりました。小中高リーダーの子どもたちと一緒にレクリエーションを考えたり、キャンプに行ったりしています。まだ、どうしてよいのかわかりませんが皆さんから教えて頂きながら楽しくやっていきたいと思っております。

つつじが丘小地区担当 中村 真理

長い間ありがとうございました

よろしくお願いします。

## 平成30年度 多摩地区青少年委員会連絡協議会総会 開催

開催日：平成30年5月12日(土)  
場 所：昭島市役所市民ホール

昨年度に引き続き、今年も昭島市において多摩地区青少年委員会連絡協議会総会が開催されました。総会議案審議、立川市、稲城市、日の出町の青少年委員の活動報告の後、八王子ダルク施設長の加藤隆氏にご講演いただきました。ダルク(DARC)とは、ドラッグ(DRUG=薬物)のD、アディクション(ADDICTION=嗜癖、病的依存)のA、リハビリテーション(RIABILITATION=回復)のR、センター(CENTER=施設、建物)のCを組み合わせた造語で、覚醒剤、有機溶剤(シンナー等)、市販薬、その他の薬物から解放されるためのプログラムを持つ民間の薬物依存症リハビリ施設です(全国ダルクwebページより)。講演では、薬物が家族など本当に身近なところから、あっという間に子どもたちに入り込んでしまう実態など、加藤氏ご自身の体験に基づく貴重なお話を伺うことができました。薬物に対する問題意識は青少年委員の活動においても不可欠なものであると痛感しました。

昭島市青少年委員の会副会長 加藤 清美



「会長あいさつ風景」

## 青少年委員の会

### ☆☆ 年間活動スケジュール ☆☆

- 4月～5月 各小学校地区でスポーツ大会のお手伝い。
- 6月～8月 小学生リーダー講習会及び中学生リーダー講習会に参加し、ゲームや野外活動の指導補助等。
- 11月 青少年フェスティバルでは実行委員の指導者としての参加や全体の準備のお手伝い。
- 12月 リーダーズクラブのクリスマス会では料理を作ったり、プレゼント交換したり、楽しいイベントです。
- 2月 青少年交流センターまつりを開催しています。
- 3月 リーダーズクラブ春合宿。
- その他 定例会。(月1回)





## 青少年委員が、担当地区の 一押し！ を紹介します！

### 瑞雲中学校の紹介 (世代を超えて…)

武蔵野小地区担当 久保 真由美

武蔵野小学校・つつじが丘小学校の学校区からなる瑞雲中学校では、積極的にPTA・自治会と連携し、地域住民とお互いに助け合う「自助」、「共助」の取り組みを毎年、防災訓練を通し行っています。昨年9月23日(土)に行われた防災訓練では、各自治会ごとに集合した生徒が、自地区に移動し、住居の特色にあった訓練をしました。近隣にあるマンモスマンション、つつじが丘団地においては「救助求む(赤)」「無事(黄)」「避難済(青)」の3種類の磁気ステッカーが全世帯に配布されており、玄関に張り付けることになっています。生徒はそれを元に声掛けをしております。他地区でも、炊き出し訓練、安否確認訓練、初期消火訓練など、世代を超えてコミュニケーションをとり、被害を最小限に食い止める訓練をしました。今年も9月22日(土)に実施し、生徒自ら身の安全を守るとともに、地域住民の力になり、救助される人ではなく「救助する人」になる「共助」を学びます。



### 多摩辺中学校の紹介

田中小地区担当 角川 真紀

近くに多摩川が流れ、緑に恵まれた環境の中に多摩辺中学校はあります。穏やかな環境の相乗効果でしょうか、生徒の皆さんに出会うと爽やかに挨拶してくれ、人懐こい笑顔に地域の私たちは心癒されることが多いです。

今回は、多摩辺中学校の特色ある活動のひとつ、農業体験をご紹介します。

この活動は、長野県上水内郡小川村に2泊3日の行程で農家のお宅にホームステイを体験し、そして農家の方とも温かいふれあいの時間が過ごせる貴重な体験をします。

毎年5月中旬、2年生が小川村に行き田植え、野菜作り、りんごの摘花、森林の伐採等を体験し、また長野の名物おやきの作り方を教えて頂くこともあるようです。また体験後も農家の方と交流は続き、昭島産業祭の小川村ブースでお手伝いや、学校の行事に小川村の方がいらしてる事や、PTA活動でも小川村に出かけ、村の方々と交流を行うそうです。農業体験は20年近く続いていて、多くの卒業生たちも、小川村の話を聞くと、その思い出を語ってくれ、体験した生徒・卒業生の共通の思い出になっています。

今回ご紹介しました小川村農業体験は、受け入れのお宅の高齢化や様々な点で、今年度で一旦終了となります。残念ですが最後の今年度は、例年とは異なり、収穫の秋に実施です。多くの卒業生の思いも乗せて、より実りある収穫になるのではないかと考えています。





## 『岩泉との国内交流』



昭島市小学生国内交流事業  
昭島市青少年委員の会  
臼井 規次 (拝島第一小地区)

今年も暑い夏がやってきました。毎年行われる岩手県岩泉町との国内交流事業が、8月3日から6日までの三泊四日で実施されました。初日は、対面式を行ったのち環境コミュニケーションセンター見学や電子顕微鏡の体験。シマダヤ関東(株)にて工場見学と、ご厚意により流しそうめんをして頂きました。みんな、お腹いっぱい食べたようです。また、今年は猛暑によりハプニングだらけ。いつも、宿泊する高齢者福祉センターが使用できなくなったことにより市役所にて宿泊、翌日はレインボープールに行き、その後はホストファミリー宅へ。くじら祭りは異常なくらい気温が上がり、大くじらを引くパレードが中止となりました。予定したスケジュールが一部変更になりましたが、無事に最終日のお別れ会を終えて岩泉町の派遣団は帰りました。色々な思い出を作って頂いたと思います。昭島の団員派遣が8月18日から21日に行われました。楽しい思い出をたくさん作ってきたようです。

## 2018 青少年フェスティバル

11月25日(日)開催

### テーマ [This is AKISHIMA This is me]

今年も高校生実行委員長を中心としたフレッシュな実行委員が青少年フェスティバルを推進します

今年の見どころは。。。

東小地区担当 坂口 淳

#### 本部企画

各企画をとりまとめ、広報、環境を担当します。本部企画としては「クイズラリー」を開催予定。



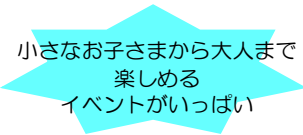
#### 展示企画

色々なイベントを公民館の1階から3階をフル活用。イベントに参加して、経験し楽しむ企画です。



#### 遊び企画

アウトサイドで「わくわく TOWN」の名のもと、空間を楽しく演出し提供。模擬店による美味しい食べ物・竹馬・駄菓子釣り・巨大スマートボールなどのゲームで楽しめます。



#### 大中小企画

日頃のレッスンの成果を発揮するダンス、合唱、吹奏楽、お囃子、太鼓などのパフォーマンスとワガママ企画として今年もカラオケ大会を開催。



#### 小中企画

練習してきた楽曲を披露するライブパフォーマンスを中心としたイベントを開催します。今年も開催後に子ども向けに「アキシマクジラ講演会」を開催します。どうぞお楽しみに。

